

# MIRAI

## Digest

新年あけましておめでとうございます

名張育成会の「今！」がわかる

MIRAIとMIRAI reportそして輪 ブログ

YOUブログMIRAI

MIRAIレポート 名張

YOUブログRIN

vol.50  
2016.1.1発行

発行:名張育成会MIRAIプロジェクト  
社会福祉法人 名張育成会 〒518-0615 三重県名張市美旗中村2326 TEL 0595-65-0271 FAX 0595-65-2936  
発行責任者:市川知恵子(社会福祉法人名張育成会) 編集責任者:男武正基(社会福祉法人名張育成会)  
編集長:佐伯典昭(株式会社サンエイ) 編集デザイン主任:新井知子(株式会社サンエイ) 題字:千秋育子

## 命を守る使命を果たすため～BCP(事業継続計画)訓練～

近年、国内でひんぱんに台風被害や土砂災害が起き、伊賀圏域でも南海トラフを震源とする巨大地震が、いつ起きてもおかしくないと言われている。東日本大震災の大きな被害を受けて、全国的に防災への意識が高まりを見せる中、名張育成会ではどのような取り組みを行っているのか取材した。



すぐに点呼を取る。

### 「避難」に終わらない備え

防災の第一優先はまず命を守る「避難」で、これまでの防災訓練は避難所にたどり着けば終わりと言う事が多かったが、無事に避難できたその後も、生き延びるためには様々な備えが必要なのが、近年クローズアップされるようになった。それを実践するのが「BCP (business continuity planning)」＝「事業継続計画」。これは、災害が発生した後も業務を中断させないように予め備えておく計画の事。特に入所施設で暮らす利用者さん達は、途切れない支援を必要とする方たちも多く、たとえ無事に避難できたとしても、その後も命の危機にさらされる可能性のある方々もいる。

加えて名張育成会は社会福祉法人として社会に貢献し公益性を発揮して行くという使命がある。そのため福祉避難所として名張市と協定も結んでいる。もちろん災害時には地域の方々、とりわけ専門的な支援を必要とする方々に避難していただくというこ



社会福祉法人として地域の方々の避難所としての役目も果たすため、400人1週間分の食料備蓄を目標としている。

東南海を震源とする震度7の大きな地震が起きたという想定で訓練がスタートした。



写真入りのリストで、違う施設職員でも利用者さんへの適切な支援ができる。

やってみて初めて気づく坂道での車いすの重さ。

### 急に起こる災害を想定して

名張育成会では防災への取り組みを先駆的に行っており、昨年11月には第一回目のBCP訓練を行った。この時は初めて取り組むということもあり、通所事業所に通う利用者さんがいない土曜日という設定で行ったが、今年は平日の、通所、入所、保育園を含む全事業所に利用者さんがいるという想定で訓練を行った。職員の出勤シフトも訓練のために変更する事はせず、公休の職員は交通マヒのためかけつける事ができないという設定で、徹底して「急に起こる災害」に対し、いつもの日常の中でどこまで対応できるのかをシュミレーションした。

### 見えてきた課題

電話が通じない、保護者への連絡が通じない、窓ガラスが割れた、トイレが使えないなど、

起こりうる困りごとの想定を盛り込んでいくことで、やってみないとわからなかった課題も色々でてきた。例えば薬。病院で処方してもらった薬は必要な分しか出してもらえないため、備蓄する事ができない。しかし薬がなくては夜を越せない人もいる。災害時病院に行けない時は、その対応をどうするか。

また、敷地内にある急な坂道は普段車いすでする事はないが、エレベーターが動かないという設定で、車いすですり坂を移動してみると、女性の力ではとても大変だという事がわかったり、具体的な課題が出てくることで、今後の改善点が明確になっていった。

事故防止委員会の阿部晋一委員長(ゆーゆ所長)は「今回の訓練で出た課題をクリアしながら、さらに目標に近づいて行けるように、取り組んでいきます。また今後はより実践的な大規模な訓練も行っていきたいです。」と抱負を語った。

利用者さんの大切な命を預かる事業所として、また社会福祉法人として、名張育成会の果たすべき使命は大きい。



緊迫した訓練だったが、利用者さんがパニックになるようなことはなかった。訓練の大切さを感じる大きな要素だった。

(文) 田口知恵子  
コミュニティFMを通じて、地元情報を日々伝えるナビゲーター。  
名張市在住。

児童発達支援センター〈どれみ〉 クリスマス会



〈連絡先〉TEL 0595-44-6211,0595-44-6166 (相談)  
E-mail:doremi@n-ikuseien.jp  
★MiRAiレポートブログの「子ども支援グループ」をクリック下さい。

クリスマス会は、数ある行事の中でも大きなイベントです。準備では、子どもたちが療育の中で、お母さんと一緒に作ったクリスマスツリーやサンタさんで5階廊下を彩りました。当日、午前の未就学児グループでは、お父さん、お母さんに加え、おじいさん、おばあさんなど75名の方がお見えになり、とても賑やかでした。午後の就学児グループは、22名の方がお見えになりました。月に数回療育に通っている子どもから、年に一度、クリスマス会にのみ来てくれる子どもまで様々です。みんな背が高くなったり、ちょっとふっくらしてお兄さん、お姉さんになり、「～ちゃん」から「～さん」と自然に呼んでしまう程で、成長していく子どもの姿を保護者の方と喜び合う日でもありました。

クリスマス会は、いつも療育で行っている遊びに少しアレンジをして、子どもと保護者が一緒に楽しむことを大切にし、良い思い出作りのお手伝い出来るようにしています。

ホームヘルプサービス〈ゆーゆ〉

★お菓子作り★



今回は、ヘルパーの提案でクッキーとかぼちゃパイを作りました。今回はちょー簡単!クッキーは材料を混ぜ、クッキングペーパーの上にスプーンで適量をのせて、あとは焼くだけ!簡単でしょ?クッキーを焼いている間に、かぼちゃパイの準備!かぼちゃはレンジで柔らかくして砂糖と一緒に混ぜ、ある程度混ぜたら次はアンをパイ生地で包みます!包めたらハサミで切れ目を入れて卵でコーティング。あとはオーブンで焼くだけ!出来るまでワクワクしながら片付けをしたり休憩をしたりして過ごし、時々こげてないかチェック。で、出来上がりをさっそく試食!味は甘くてとっても美味しかったです。

また、一緒に作れるといいなあ

〈連絡先〉名張市西原町字長尾2625  
TEL/FAX:0595-65-0874  
Email:yuyu@n-ikuseien.jp  
★MiRAiレポートブログの「ホームヘルプ支援グループ」をクリック下さい。

の一まらいふ暖

の一まらいふ暖のパンフレット



の一まらいふ暖では、現在、事業所の広報活動として『の一まらいふ暖の紹介パンフレット』の準備をしています。限られた紙面にどんな情報を盛り込むか。色や形、挿絵などはどんなものにするか…必要最低限の情報を分かりやすく掲載するために、職員みんなで悩みながら、少しずつ作り上げています。また完成したら、このブログでもお披露目させていただこうかと思っていますので、皆様も楽しみにしてくださいね。

〈連絡先〉名張市西原町2625  
TEL:0595-66-5633 FAX:0595-65-8210  
Email:dan@n-ikuseien.jp  
★MiRAiレポートブログの「相談支援グループ」をクリック下さい。

名張育成園の活動、ひとつずつ!

各施設の様子をお伝える「MiRAiレポートブログ」から選り抜きの話題をご紹介します。詳しくは、ブログをご覧くださいね!

<http://www.you-blog.jp/blog/miraireport/>

デイセンターういず

旅行に行ってきました!



暑くもなく寒くもなく、過ごしやすい冬晴れの日、恒例の日帰り旅行に行ってきました。今回は、保護者のご要望も取り入れ、「美味しいものをゆっくり食べよう!」をコンセプトに、伊賀市阿山にある割烹「まつもと」へ観光バスにゆられて行きました。旅行と言うには少し近いかな?と、職員の不安をよそに皆さん、季節感あふれる料理を前に、ゆっくりとしたひと時を楽しんでおられました。その後はモクモクファームに寄ってお土産を購入し、帰路へ(\*^\_^\*)。旅行としては短い時間でしたが、美味しいものを食べるとみんな満足するんだなあ、と職員一同感激しました。

〈連絡先〉名張市美旗中村2326 TEL:0595-66-0020  
E-mail with@n-ikuseien.jp  
★MiRAiレポートブログの「通所支援グループ」をクリック下さい。



東部保育園 新しく「みはた虹の丘保育園」となります

工事も大詰めを迎え、いよいよ1月27日に竣工式を迎えることになりました。今後は新しく「みはた虹の丘保育園」として、2月1日より新園舎での保育を始めます。更に地域に愛される保育園として、思いをいっぱい詰めた保育を行う所存ですので、今後とも、どうか宜しくお願い致します。

(内覧会のご案内) 竣工を記念し、内覧会を行います。どなたでもお越しいただけます。10時~12時のご都合の良い時間に新園舎までお越しください。内覧会:1月30日(土)午前中

(新名称)みはた虹の丘保育園(新住所)名張市新田字女良塚1005番地  
電話:0595-65-3065、FAX:0595-65-9619  
mail:tobu@n-ikuseien.jp ※電話、FAXともに現在の番号通りです。